



blood test



検査データの見方



【なぜ定期的に検査が必要？】

- ・腎臓の働きの代わりを評価するため
- ・合併症の早期発見と予防のため
- ・体の状態を正確に把握するため
- ・治療方針を決定する重要な指標として

尿素窒素(BUN)

管理目標値

80mg/dL以下

たんぱく質が体内で利用された
あとにできる老廃物

上昇:たんぱく質の摂りすぎ、※エネルギー不足

下降:たんぱく質の不足

※食欲低下でエネルギーが不足すると体たんぱく質
(筋肉)を壊してエネルギーを作るのでBUNが高値になる

ヘモグロビン(Hb)

管理目標値

10~12g/dL

赤血球に含まれるたんぱく質

全身に酸素を運ぶ

低いと貧血

カリウム(K)

管理目標値

3.6~5.0mEq/L

筋肉や神経の働きに深く関わるミネラル
高いと不整脈や心停止を引き起こす

高値:生野菜、いも類、果物の摂取が多い

リン(P)

管理目標値

3.5~5.5mg/dL

骨の健康を維持するために重要なミネラル

高いと骨がもろくなったり、血管の石灰化が
起き、心筋梗塞や脳梗塞の原因となる

グリコアルブミン(GA)

管理目標値

※ 24%未満

アルブミンとブドウ糖が結合したもの

約2週間~1カ月前から現在までの

平均血糖値を表す

※心血管病や低栄養でなければ20%未満が目標

補正カルシウム(Ca)

管理目標値

8.4~9.5mg/dL

栄養状態を考慮した上での血液中の
カルシウム値

低いと骨がもろくなる

高いと骨以外の場所に沈着をおこしやすい

アルブミン(Alb)

管理目標値

3.5~4.0g/dL

肝臓で作られるたんぱく質

低値:食事からのたんぱく質摂取不足

もしくは体内で炎症が起きているなど

PTH-インタクト

管理目標値

240pg/mL未満

カルシウムを調整するホルモン

カルシウムを骨から調達する作用があるため

高値が続くと骨がスカスカになる